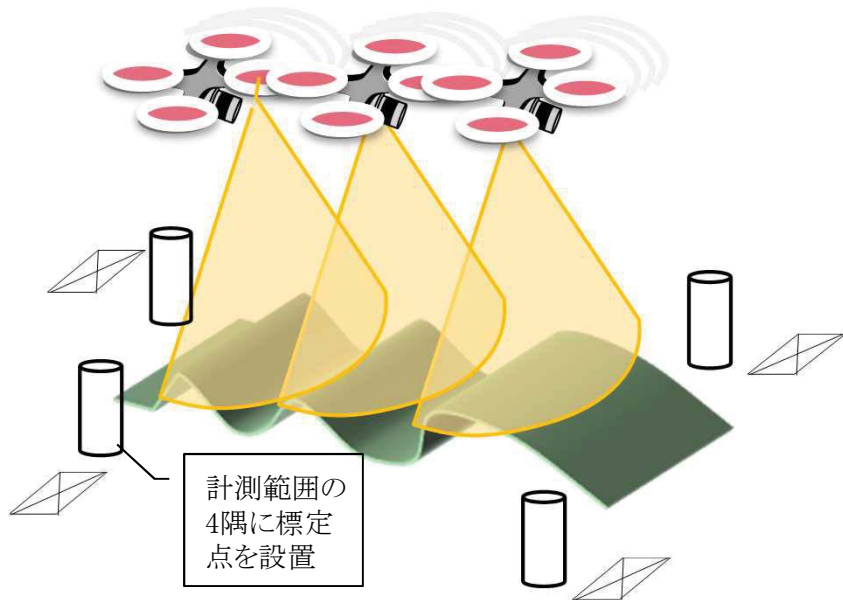


2-1: ICT土工の「カイゼン」について

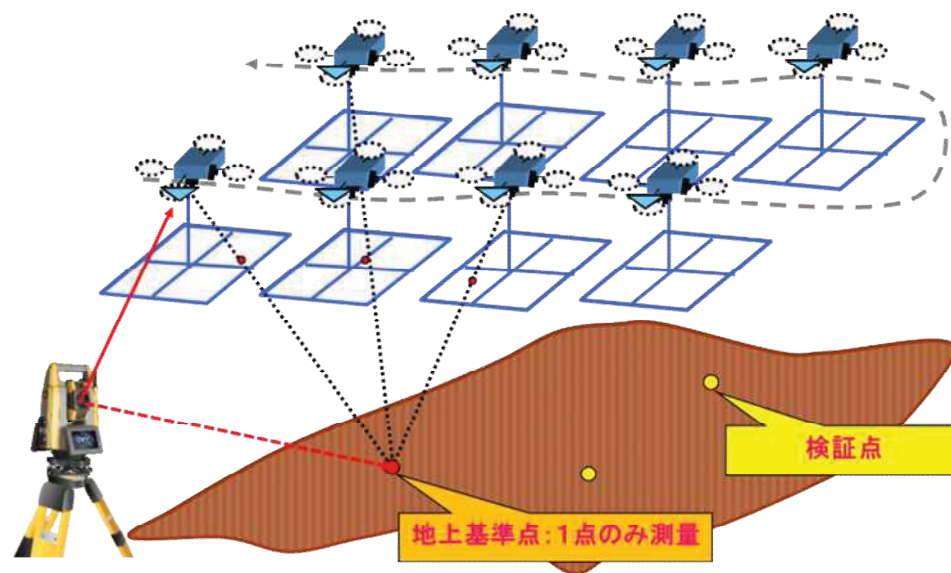
■ 新技術への適用拡大の例

- 急速に活用事例が増えているレーザースキャナ搭載型UAVへの対応等
- 標定点の数を大幅に削減

レーザースキャナ搭載型UAV



UAVのカメラ位置の直接定位



【効果】(※)約10,000m²(延長約200m)の
出来形管理 (標定点計測外業)

- 現行: 測量作業時間 : 90分 (13箇所)
- 改定: 検証点のみ測量 : 25分 (4箇所)

※) 参考: 現行の標定点設置ルール

